

項目		説明
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	穿刺排液を要する腹水を伴う肝硬変症におけるアルブミン使用量調査
	研究目的	横浜市立大学附属市民総合医療センター及び共同研究機関で、穿刺排液を要する腹水を伴う肝硬変で入院した方について、原因疾患・検査結果・治療法・予後などの情報について検証する
	研究対象者	2010年12月1日以降、2020年12月31日までの期間に、横浜市立大学附属市民総合医療センター及び共同研究機関に、穿刺排液を要する腹水を伴う肝硬変で入院し、高張アルブミン製剤を使用した方
	研究期間	西暦 2021年 7月 19日 ~ 西暦 2025年 3月 31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の管理についての責任者	当センター 一研究責任者	森本学
試料・情報を利用する者の範囲	当センターでの実施診療科/部局等	消化器内科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	横浜市大学附属市民総合医療センター・輸血部・消化器病センター 野崎昭人 横浜市立大学附属病院消化器内科 前田慎 横浜南共済病院消化器内科 近藤正晃 済生会横浜市南部病院消化器内科 川名一郎 藤沢市民病院消化器内科 岩瀬滋 横須賀市立市民病院消化器内科 小松和人 秦野赤十字病院消化器内科 田中克明